

# 気管支喘息の薬について

気管支喘息の症状は、①気管支粘膜の慢性炎症 ②気道過敏性(収縮性)の亢進 ③気道が狭くなることによって起こると言われています。

花粉やダニ・カビ、家の中のチリやホコリ、大気汚染、寒冷、さらにはストレスなどが原因になっている可能性もありますので、これらに注意して喘息を起こしにくくするよう、日常生活に気をつけましょう。

## 《薬はどのように効くの?》

効き方は薬によって異なりますが、

- ① 気管支の炎症を抑えます。
  - ② 気管支を拡張させ、呼吸しやすくします。
  - ③ アレルギー反応を抑えます。
  - ④ 痰を切りやすくします。
- ①～④の作用をもつ薬が症状によって組み合わせられます。  
吸入薬、内服薬、貼り薬等があります。



## 《注意することは?》

- ①気管支喘息の治療薬の中には、体の中に一定量の薬がないと効果が発揮されないものがあります。勝手に使用または服用をやめることにより、発作が起こりやすくなるため、必ず、医師の指示通りに継続して使用または服用してください。
- ②吸入薬を使用するときは、説明書をよく読んで吸入手順を守ってください。不明な点があれば医師または薬剤師におたずねください。
- ③妊娠している方（妊娠の可能性のある方）や赤ちゃんに母乳を飲ませている方に対して注意が必要な薬もありますので、その旨、医師に申し出てください。

## 《副作用は?》

薬によっては、眠気、胃腸障害、頭痛、動悸、手指のふるえなどが現れることがあります。

これらの症状以外にも、使用や服用を始めて変わったことがありましたら、医師または薬剤師に相談してください。



お薬についてのお問い合わせ、ご相談は  
ご遠慮なく薬剤部へ